

アマリリスの花とイースター

１月の終わり、わたしの友人がポットに入ったアマリリスの球根をくれました。「まず、50ccの水を与えてください。次の水やりは芽や葉が出たときで、2週間に一度、コップ一杯の水を与えてください」と手紙に書いてありましたが、何日たっても球根の葉には何の変化も見られません。ところが、一ヶ月以上経った４月のある日、部屋に入り窓の側のアマリリスを見ますと、いつの間にか、きれいな紅い花を咲かせているのです。日の当たる窓際に鉢を置いていましたから、太陽の光を十分に吸収することによって、アマリリスは成長したのです。

日曜日を英語で「サンデー」と言います。「サン」はお日さまのことです。月曜日から土曜日までは太陽の周りを回っている星の名前が付けられていますが、日曜日は、地球の生命を維持するために最も大切な太陽の日です、この日の朝早く、イエス様は復活しました。

イエス様は生き返ったのではなく、アマリリスが花を咲かせたように、今までとは違ったからだに復活されました。大切な人を失い、悲しみのどん底に落とされたイエス様の弟子たちに現れ、「あなたがたに平和があるように」と言いながら息を吹きかけました。神さまの霊を受けることにより、弟子たちの悲しみや苦しみが癒やされ、感謝と喜びが心を満たしました。皆さんもからだをいっぱい動かし、色々なことを沢山学んで、今までとは違った自分に変身してください。

イースターおめでとうござます。

